



コミュニケーションペーパー

2021
Autumn & Winter

秋冬号

Vol. 5

TAKE FREE

CHOUZとは「長ずる」の日本古語で「成長する」という意味があります。本学は、学生の皆さんが自分の目指す保育者へと成長する過程を共に歩んでいきたいと考えています。

特集

保育者養成実習における
事後指導方法

講師 舟越 美幸 (障害児保育)

トピックス

「第25回 日本ボランティア
学習学会 2022 in しまね」
を来年秋開催

>>>先輩たちに聞く！

保育の現場から (U.Yさん)

▶教員紹介

大阪健康福祉短期大学 学科長・教授 橋本 祐治

▶2022年度 入学試験日程

▶オープンキャンパス

編集後記

保育者養成実習における事後指導方法

私が今研究している分野は、保育の場で気になる姿を見せる子どもとのかかわりや、実習中に学生が得た心動かされる場面を活かす事後指導の方法です。日本の保育者養成課程においては、学内で開講する基礎教養科目、専門科目や演習科目において「保育理論」を、保育現場において「体験的な学び」を積み重ねる構造となっており、学生は各実習において、子どもたちと心を動かして関わり、保育者から助言を受けることで学びを確かなものとします。ドナルド・A・ショーン(アメリカ・哲学者)が、暗黙知の中にある実践を振り返り、知を再構造化する「反省的实践家」である必要性を述べていますが、学生にとっても同様で、保育者養成においては実習の事後指導の手立てを工夫し、各実習が段階的に意味深くなるよう教授内容を組み立てる必要があります。

その具体的な方法のひとつとして「エピソード記述方式を用いた実習報告書」があげられます。これは、鯨岡峻(京都大学名誉教授・発達心理学者)が考案した「エピソード記述」が基となっており、子どもの発達や特性等を中心とする子ども理解に加え、学生自身の思いと関わり、周囲との歴史性や関係性など様々な要因から時々の現象を理解し、その環境下にある子どもを主体として多面的に捉えることに特徴があると思います。人は周囲との関係の中で自己を表し影響し合って生きています。子どもにとっては、中でも人的環境である保育者が与える影響は大きく、実習生の思いと関わりの変化で子どもの心が揺れ、表す姿が変る様は、学生が自分らしく、保育を見つめ直すことにつながっていると感じます。また、学生同士が報告書を読み合うことで感じる

講師
舟越 美幸
(障害児保育)



「人と人が繋がる多幸感」や「保育者への憧れ」は、他の事後指導に替え難いものです。

もう一つは環境図を使い、幼稚園実習で体験した環境構成を保育者と子どもの思いや願い両面から理解する方法です。私が担当する幼稚園実習で学生は、社会の厳しさに出会い、様々な思いもしますが、保育が保育者と子ども相互を主体とする関係の連続で成り立っており、保育者の子どもの思いや願いを大切にしたい関わりや環境構成が、子どもが自分らしく周囲の環境に関わる意欲を促し、子ども同士がつながり合う姿を支えていることに気づきます。近年、保育の環境構成技術は、保育者養成課程における教科目の一つとなりましたが、『「保育の目標と原理」・「子どもの発達」・「集団保育」・「玩具や用品」の理解等、前提となる知識が必要で複雑な学習階層を持つため、養成期間に獲得することは不可欠であるが容易ではない(高山2014)』と言われており、課題のひとつであると感じています。

いずれも学生の心が動く場面の省察は、現場の実践知や学生の挑戦を許していただける環境があるからこそ成り立ちます。地域の保育者の方々に保育者養成に携わっていただけることに心から感謝し、子どもや学生、地域の方々を大切にしたい保育者養成について、考えていきたいと思っています。

特集



「第25回日本ボランティア学習学会 2022 in しまね」を来年秋開催

「水に入らなければ泳ぎを憶えることはできない」ボランティア学習の祖であるアレク・ディクソン(英: Alec Dickson)の言葉です。彼は、世界で初めてのボランティア活動推進機関『VSO』(Volunteer Service Overseas)を創設したことで知られています。

ボランティアという言葉の解釈は、時代とともに拡大しているように思いますが、「ボランティアによって何を学ぶことができるのか?」と尋ねられれば「ボランティアとは、社会の在り様を知り、その不条理に立ち向かい、社会参加し、他者と結び合い、共に人としての育ちを得る」ことだと答えることができます。人が心地よく泳げる「水質」を体験を通して考察することはとても重要です。

今、戦後76年を迎え、地域社会は大きな転換期の只中にあります。人口減少、経済停滞、超高齢社会、少子化、生活格差、差別、孤立、自然環境の変化といったネガティブな言葉が横行する中で、新たな地域社会の在り様を模索しています。「地域共生社会」の構築が旗印です。社会生活の現実を決して生易しいものではありませんが、水に入る勇気がなくては、自らを認めることも難しいのは事実です。

もう40年程前に、全国社会福祉協議会は「福祉教育」の種を蒔きました。私自身もその頃福祉教育に関わった一人ですが、当時の牽引者である大橋謙策先生

(元日本社会事業大学学長)は、「福祉教育がもたらすものは自浄作用だ」と言い切りました。自分自身が人として生きる上で掛け替えのない機能だと私も思います。同様に、アレク・ディクソンは、「ボランティアによって救われるのは、あなた自身だ」とも言っています。

島根県は、「福祉教育発祥の地」と言われています。立ち上がったばかりの『全国ボランティア学習指導者連絡協議会(全V指協)』による第1回「10代のボランティアを育てる全国指導者セミナー」が開催されたことによります。

2022年11月、「第25回日本ボランティア学習学会 in しまね」を松江市で開催することになりました。松江市で全国大会を開催するのは2回目。本学はその事務局を担当することになりました。

人口減少が進む島根県では、地域が一体となった様々な社会活動が展開されています。そして、未だ注目を浴びていない、地道でささやかな、かけがえのない活動もあります。

しまね大会は、そうした草の根の活動主体を集め、その存在を共有し、それらを社会資源に育てるために、全国津々浦々の叢智を集め、支援ネットワークを構築することを目的として開催したいと思います。

大阪健康福祉短期大学松江キャンパス
学長代理 余村 望

キラリ 仕事人

先輩たちに聞く!

U.Yさん(1期生)
(出雲市出身・島根県立大社高等学校卒)
社会福祉法人開花に勤務



保育者は、子ども一人一人の成長に関わることのできる素敵な仕事

私は、保育現場に出て、日々学び成長の毎日だ!と感じています。子どもたちの「やってみたい」「できた」「もっとしたい」といきいきとした姿から喜びを感じたことで、日々の保育・教育を振り返り、見直しを繰り返すことでより良い保育・教育に繋げていくことが大切だと改めて思いました。

子どもたちとの関わりや活動をする際の配慮など、次はこうしよう、ああしようと思案する中で、新たな発見があり、保育教諭としての成長につながっています。また、保育教諭としてことば使いや元気な挨拶、笑顔などに気をつけています。そして、十人十色という言葉のように一人一人に合わせた関わりが大切だと実感しました。子ども達の話に耳を傾け聴くこと、一人一人の姿を見て丁寧に関わることを心掛けています。

私は、大阪健康福祉短期大学での2年間の学びの中で、授業や実習を通して学んだ基礎的な知識や技術が仕事で役に立っています。年齢ごとの活動内容を考えたり、計画して模擬保育を通して実践したりする経験が大きな学びとなりました。特に実習では、実践的な保育者としての動きや、子どもの関わりから言葉かけや手立てについて体感的に学ぶことができました。

保育者は、子ども一人一人の成長に関わることのできる素敵な仕事だと思います。日々、子どもたちの笑顔や成長から元気をもらって頑張っています。

子どもの育ちを支える保育者として、これから一緒に頑張らしましょう。

教員紹介



学科長・教授(国語教育)

橋本 祐治

Q1 研究テーマと研究の目的について教えてください。

言葉に自覚的な保育者の育成を目指す授業内容について研究しています。自分の専門分野を生かして、学生の保育・幼児教育における「言葉」に関わる専門性を高めるためです。

Q2 なぜその研究をしようと思ったのですか?

子どもたちの思考力や判断力、表現力を育み、人と協力して困難なことに向かっていく力を高めるためには、言葉の力が必要不可欠です。子どもたちの育ちを支える保育者自身が自覚的で豊かな言葉の力を身に付けることの重要性に気付き、保育の質を高めていくことができるような言葉の力を学生たちに獲得してほしいと考えています。



Q3 本学の教員として意識されていることは何ですか?

学生に対しては、一人一人が主体的に「生きる力」を獲得していくために、どのような指導や支援をすればいいかを意識しています。教職員の一人として、チームとして協働するために積極的に関わっていくことを意識しています。

Q4 座右の銘やこだわりなど

「誠心誠意」を目指しています。

2022年度 入学試験日程

募集区分	選抜日	選抜方法			
		総合型 選抜AB	学校推薦型 選抜A	学校推薦型 選抜B	社会人 選抜
第2回総合型選抜AB	2021/11/13(土)	○			
前期	第1回		○	○	○
	第2回		○	○	○
	第3回		○	○	○

オープンキャンパス開催!(予約制)

2021年度のオープンキャンパスは、
YouTubeを使用したライブ配信でも実施します!

2021年 10/16(土) 2022年 3/26(土)
時間 13:00~15:30 (受付12:30~)

TEL:0852-67-3716 までお気軽にお問合せください。



オープン
キャンパス
会場

学校法人 みどり学園 大阪健康福祉短期大学



保育・幼児教育学科(松江キャンパス)

鳥根県松江市西川津町4280

TEL:0852-67-3716 FAX:0852-67-3805

ホームページ <http://www.shimane.kenko-fukushi.ac.jp>

Eメール kouhou-shimane@kenko-fukushi.ac.jp



スマートフォン用



地域総合介護福祉学科

設置計画書提出中

鳥根県安来市広瀬町広瀬753-15

TEL:0854-32-4198 FAX:0854-32-4197

ホームページ <https://www.yasugi.kenko-fukushi.ac.jp>

Eメール kouhou-yasugi@kenko-fukushi.ac.jp



スマートフォン用

編集後記

今年もあっという間に10月となり、いよいよ受験シーズン到来!となりました。多くの方がオープンキャンパスに参加してくださり、本当にありがとうございました。

今年のオープンキャンパスは、新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分な配慮をし、「来場型」とyoutubeを使用した

「ライブ配信」を行っております。

10月のオープンキャンパスが終われば、次回は来年の3月になります。高校1、2年生や社会人の方の参加も大歓迎です!申し込みをお待ちしております!

(担当 宇山)



コミュニケーションペーパー

2021
Autumn & Winter
秋冬号

Vol. 5

Chouz(チョウズ)第5号 2021年10月1日発行

発行者:大阪健康福祉短期大学 保育・幼児教育学科

印刷:株式会社谷口印刷